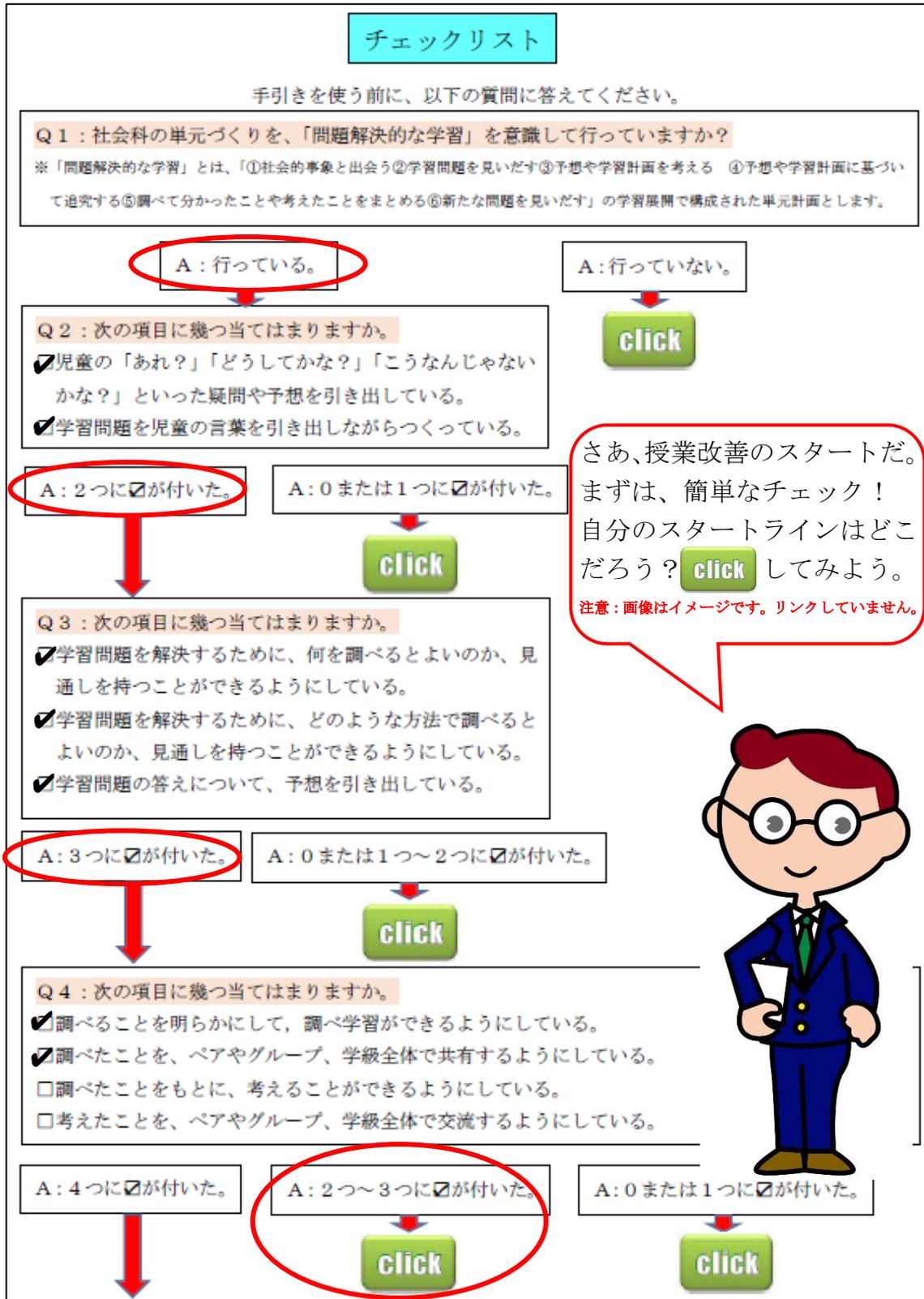


2 (3) 授業の質的改善のプロセス

ア C校 (第5学年) の実践

(7) 手引きを活用した質的改善の実際

2 (2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立てに沿って、実際に授業の質的改善を図ったC校第5学年の実践を紹介します。資料1 (授業の質的改善のプロセス③-1~③-3) は、C校の質的改善の実際 (一部) を示しています。



指示された「手引き」のページ



手順 1 【児童の実態を資質・能力の面から捉える。】

子供たちはできていますか。□内の項目にチェック回してみましよう。回が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑨⑩へ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑪、D①へ			
技能 (収集する読み取るまとめる)	(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (2) その資料がどのような資料かが分かつている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C④⑤⑥⑦へ (3) 事実を正確に読み取っている。 <input type="checkbox"/> ⇒C④⑤⑥⑦へ (4) 学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C④⑤⑥⑦へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥へ (2) 疑問に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥へ (3) 自分が調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒B①へ (4) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒B②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて（課題）の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③D①②③へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、何を調べるとよいか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを書き出すことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②、D①②③へ (1) 自分の考えを明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③④⑤へ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D③⑥へ (1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的現象の意味について考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話し合っで出した意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E④へ (2) 新たな課題を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F②③④へ
思考力、判断力、表現力等	(1) 資料を基に気付きを持つことができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A①②へ (2) 資料を基に疑問を持つことができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A①②⑥へ (3) 気付きや疑問を調べる観点ごとにグループ分けをすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A④⑤へ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A④⑤⑥へ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑦⑧⑨へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥へ (2) 疑問に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥へ (3) 自分が調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒B①へ (4) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒B②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて（課題）の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③D①②③へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、何を調べるとよいか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを書き出すことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②、D①②③へ (1) 自分の考えを明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③④⑤へ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D③⑥へ (1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的現象の意味について考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話し合っで出した意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E④へ (2) 新たな課題を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F②③④へ
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しを持っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒B①②、C①②③へ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②③④へ	(1) 社会的現象について、実感や切実感を持って調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A①②③⑦⑧⑨、F①②③④へ (2) 社会的現象について自分達の生活と照らし合わせて考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒A④①、F②③④へ (3) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて（課題）の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③D①②③へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、何を調べるとよいか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを書き出すことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C①②、D①②③へ (1) 自分の考えを明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③④⑤へ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D③⑥へ (1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的現象の意味について考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話し合っで出した意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒E④へ (2) 新たな課題を考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。 <input type="checkbox"/> ⇒F②③④へ

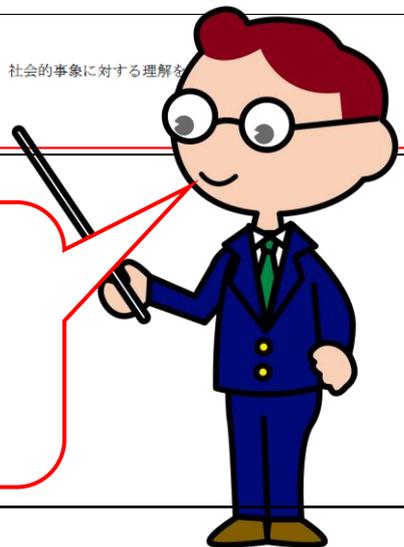
授業の質的改善を図るための手引き（手順1）

手順 2 【児童の実態を「主体的・対話的で深い学び」の3つの視点から捉える。】

子供たちの様子はどうですか。□内の項目にチェック回してみましよう。回が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
「主体的・対話的で深い学び」の視点から捉える児童の姿	○社会的現象に興味や関心を持っている。 <input type="checkbox"/> ⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④ ○目的意識を持って追究活動を行っている。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④④④、D④へ ○自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。 <input type="checkbox"/> ⇒C①④④、D④④、E④、F①へ ○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、新たな考えに気付いている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑥、C⑤⑥、D④⑤⑥、F②へ ○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えを広げている。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑥、C⑤⑥、D④⑤⑥、F②へ ○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えをより妥当性のあるものにしていく。 <input type="checkbox"/> ⇒C①、D③、D④、F③へ ○社会的現象についての見方・考え方を用いて、社会的現象の中から自ら問いを見いだしている。 <input type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥、B①、C①④へ ○社会的現象についての見方・考え方を用いて、調べたことを関連付け（つなげ）たり、総合し（まとめ）たりして考え、社会的現象に対する理解を深めている。 <input type="checkbox"/> ⇒C④④、D①②③④⑤⑥⑦⑧⑨④④④、E①②③④へ ○社会的現象についての見方・考え方を用いて、様々な社会的現象の意味や特色について考えている。 <input type="checkbox"/> ⇒D⑤⑥⑦⑧⑨へ					

様々な立場に立って、メリットやデメリットを考えることが難しいようだ。話し合いをさせているけれど、自分の考えを広げることにもつながっていないようだ。C⑥、D③④⑤⑥を見てみよう。



手順3 【日々の教師の授業を振り返る。】
 手順4 【授業で取り入れる手立て、または意識することを考える。】

先生は、手順1・手順2で示した手立てを取り入れたり、意識して行っていますか。チェックしてみてください。☑が付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	新たな課題
主な学習過程の例	●学習問題を設定する。 ・社会的事象等を知る。 ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する。 ・学習問題を設定する。	●課題解決の見直しを持つ。 ・予想や仮説を立てる。 ・調査方法、追究方法を吟味する。 ・学習計画を立てる。	●予想や仮説の検証に向けて調べる。 ・学校外での観察や調査などを通して調べる。 ・様々な種類の資料を活用して調べる。 ・他の児童生徒と情報を交換する。	●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。 ・多面的・多角的に考察する。 ・話し合う(討論等) ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。 ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する。	●考察したことや構想したことをまとめる。 ・学習課題を振り返って、結論をまとめる。 ・結論について他の児童生徒と話し合う。 ・学習課題についてレポートなどにまとめる。	●学習を振り返って考察する。 ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 ・学習成果を学校外の他者に伝える。 ・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする。
主体的・対話的で深い学びの視点から捉えたポイント	○児童に気付きや疑問を持たせてから、学習問題を設定する。	○設定した学習問題を基に、学習計画を考えさせる。	○追究活動の中で、学習問題と本時のめあて(学習課題)とのつながりを意識させる。	○身に付けた知識の活用を促す学習問題(論題)を設定する。 ○調べさせた後に、調べて分かったことを基に、考えさせる。	○単元全体を振り返り、学習問題について自分の考えを働かせる。	○学習問題について考えさせた後、今後調べるべきことを考えさせる。 ○単元を振り返り、日常生活で生かせることはないか考えさせる。
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。 <input type="checkbox"/> A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。 <input type="checkbox"/> A③題材に対して気付きや疑問を持たせる。 <input type="checkbox"/>	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいのかを考えさせる。 <input type="checkbox"/> B②調べるとよいと考えたことをグループピングし、何から調べたか報告させる。 <input type="checkbox"/>	C①学習問題を確認する。 <input type="checkbox"/> ・知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 ・学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。 C②学習問題の解決のために調べる内容を整理する。 <input type="checkbox"/> C③調べる内容について、予想をさせる。 <input type="checkbox"/> C④資料(写真、教科書等の文章等)を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。 <input type="checkbox"/> C⑤限定した資料で調べさせる。 <input type="checkbox"/> C⑥立場ごとに関する資料を分けて提示する。 <input checked="" type="checkbox"/> C⑦様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。 <input type="checkbox"/> C⑧問題の解決に必要な情報であるのか考えさせる。 <input type="checkbox"/> C⑨調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。 <input type="checkbox"/> C⑩調べた内容について、問い返して、事実相互に関連付けて考えさせる。 <input type="checkbox"/> C⑪学習問題について、学習課題(本時のめあて)とのつながりを意識して記述させる。 <input type="checkbox"/>	D①事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。 <input type="checkbox"/> D②調べた事実と考えを明確に分けるようにさせる。 <input type="checkbox"/> D③根拠となる資料を確認する。 <input checked="" type="checkbox"/> D④話し合いの目的・ゴールを示す。 <input type="checkbox"/> D⑤話し合いの視点を与える。 <input type="checkbox"/> D⑥自分の考え(予想など)を持ちやすい場面で、ペアやグループでの話し合いの時間を設定する。 <input checked="" type="checkbox"/> D⑦話し合った内容のまとめ方を例示する。 <input type="checkbox"/> D⑧キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> D⑨まとめ方に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> D⑩ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/>	E①単元全体のまとめ方を例示する。 <input type="checkbox"/> E②キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> E③まとめ方に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/>	F①新たな学習問題を提示する。 <input type="checkbox"/> ・子どもの考えを紹介する。 ・社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。 <input type="checkbox"/> ・ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を提供してもらう。 F②これからの自分たちの姿を意識しながら対話させる。 <input type="checkbox"/> F③自分たちができるかできないかの判断を全体で行い、考えさせる。 <input type="checkbox"/> F④学んだことと自分たちの生活(自分にできること)とを

ペアやグループでの話し合いの時間は設定している。資料も意図的に示していると思う。

話し合いの目的をしっかりと持たせて、視点を与えて話し合わせるようにしましょう。



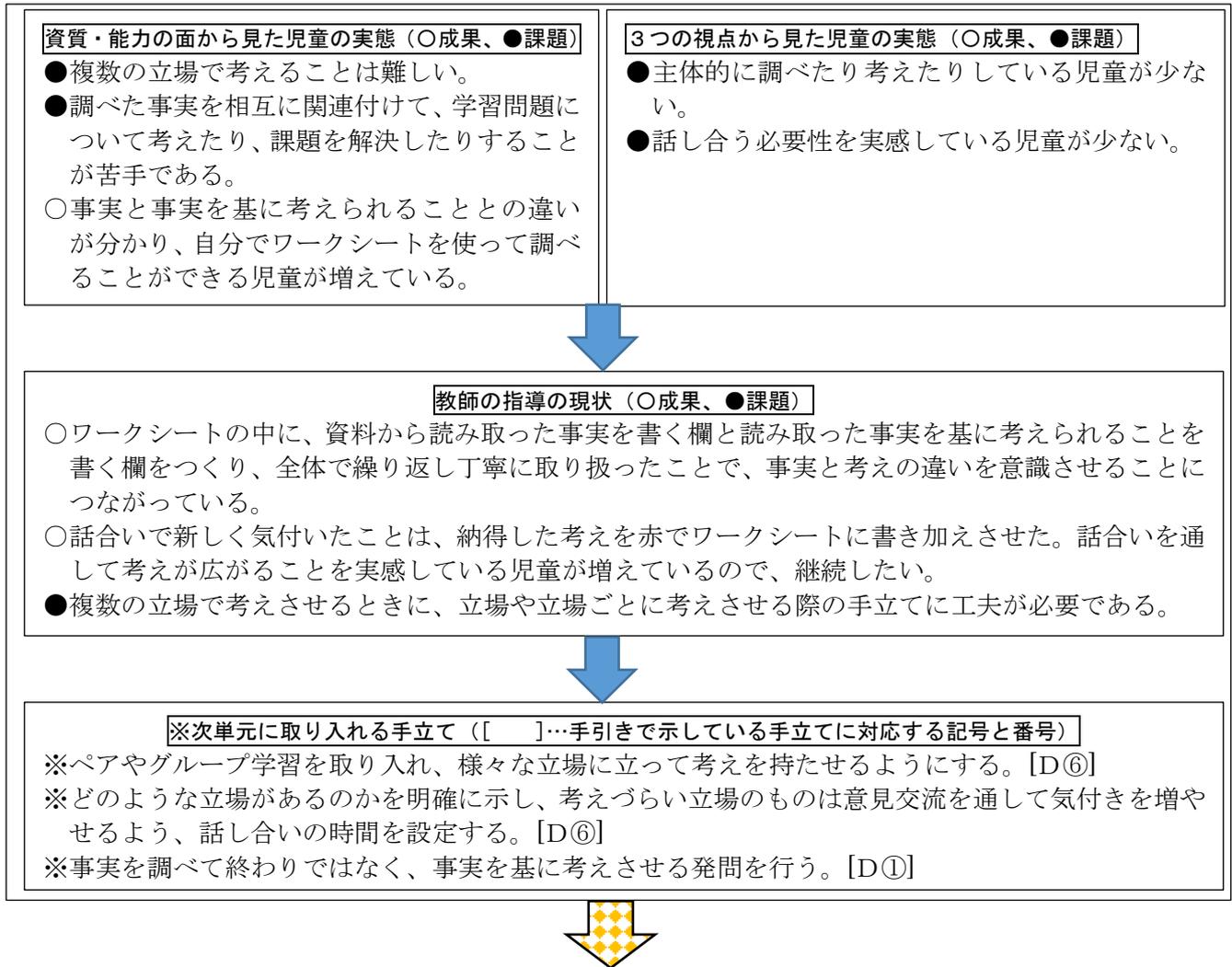
授業の質的改善を図るための手引き(手順3・手順4)

資料1 C校の質的改善の実際(一部)

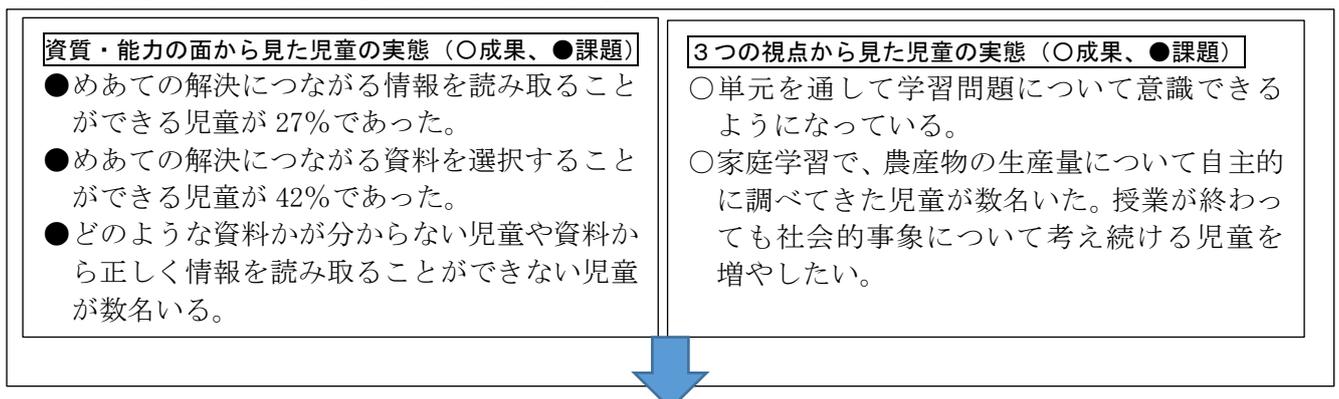
(4) 質的改善の推移

前頁資料 1 で示すように、C校第 5 学年においては、手引きに沿った考え方に沿って、児童の実態を「育成すべき資質・能力」の視点(手順 1)と「主体的・対話的で深い学び」の視点(手順 2)から捉え、教師の指導の現状を振り返りました(手順 3)。その後、指導をどのように改善していくのかを考えました(手順 4)。C校第 5 学年では、6 月から 12 月まで単元ごとに同様の手順を踏みながら、授業の質的改善を図っていきました。以下の①～⑧は、質的改善の推移を「授業の見直しと質的改善を図るための手立て-1」図 1 に合わせ整理したものです。

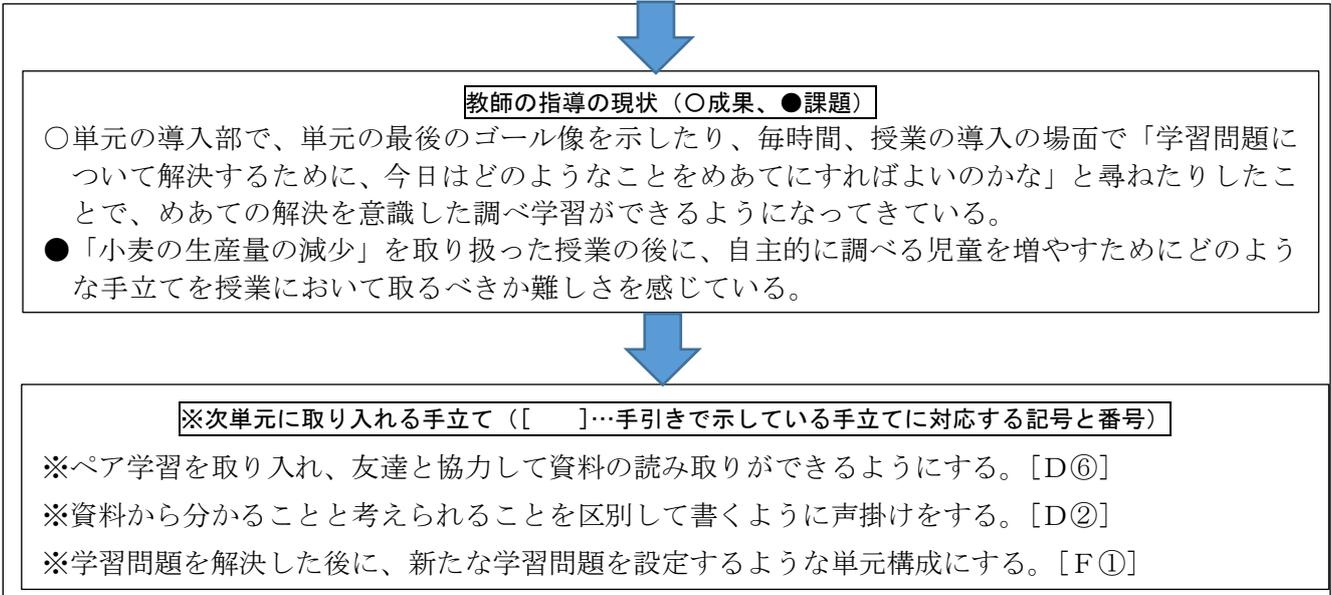
① 6 月実践 単元「くらしをささえる食料生産」



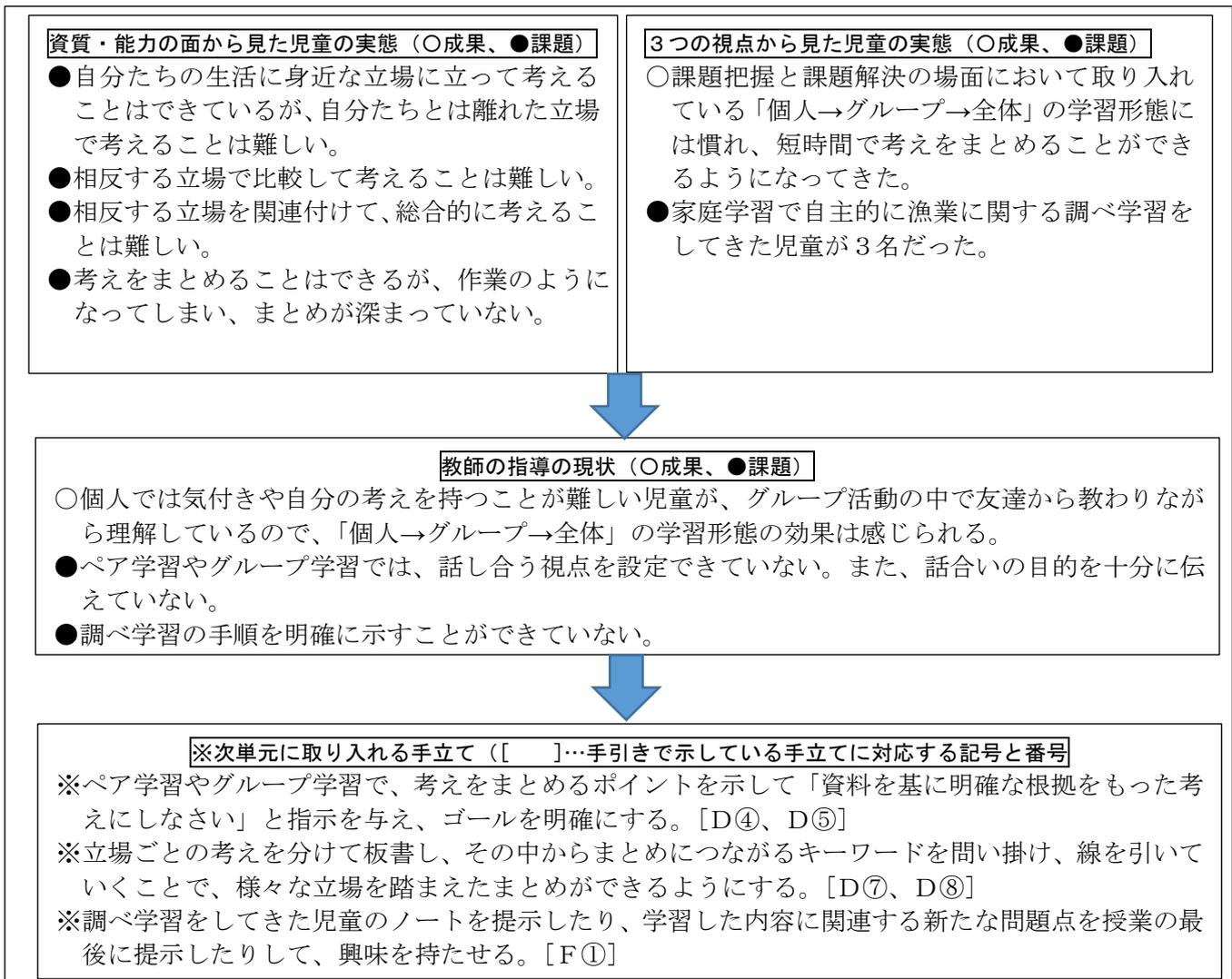
② 7 月実践 単元「くらしをささえる食料生産」



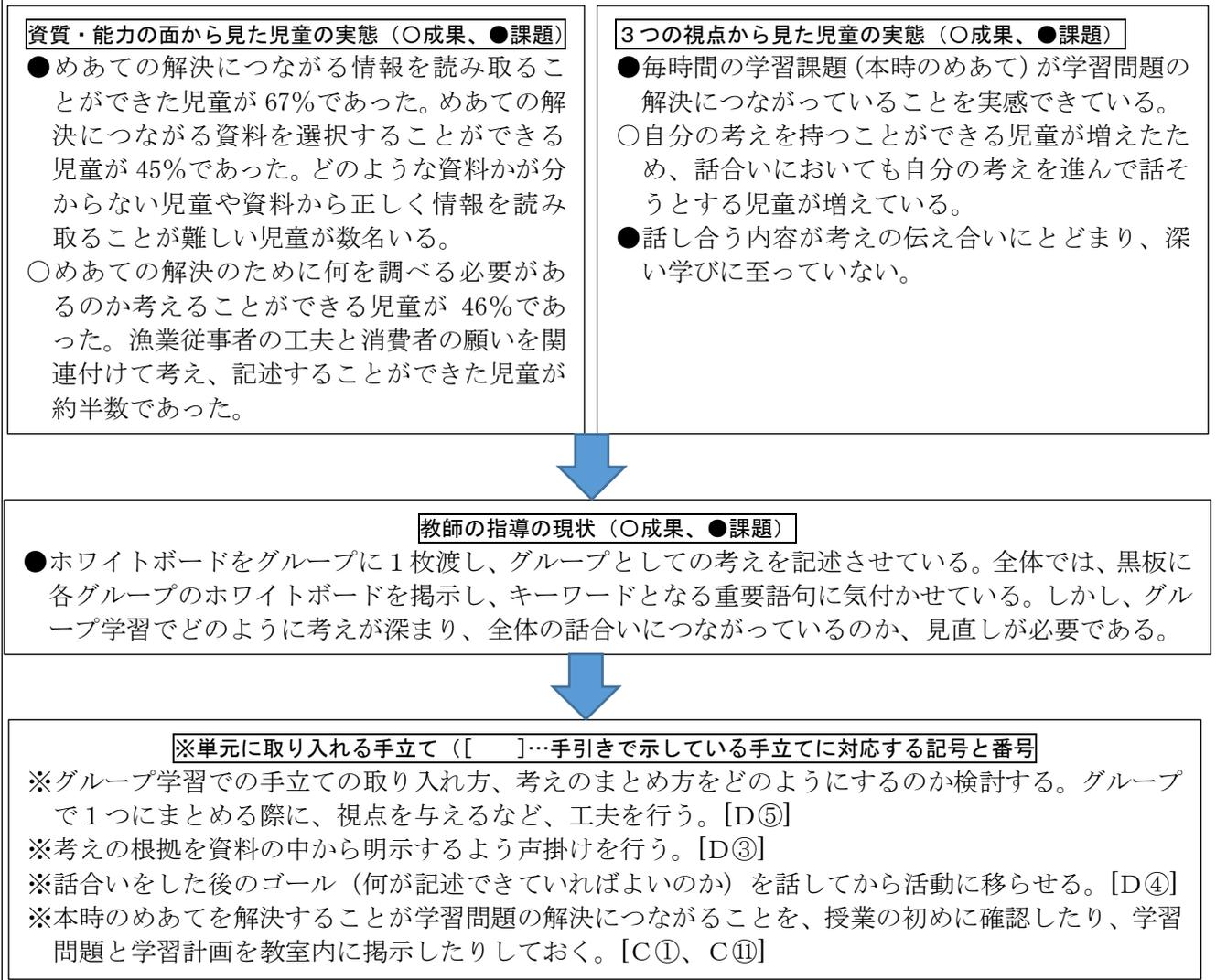
② 7月実践 単元「命とくらしを守る水」



③ 7月～9月実践 単元「私たちの生活と食料生産」



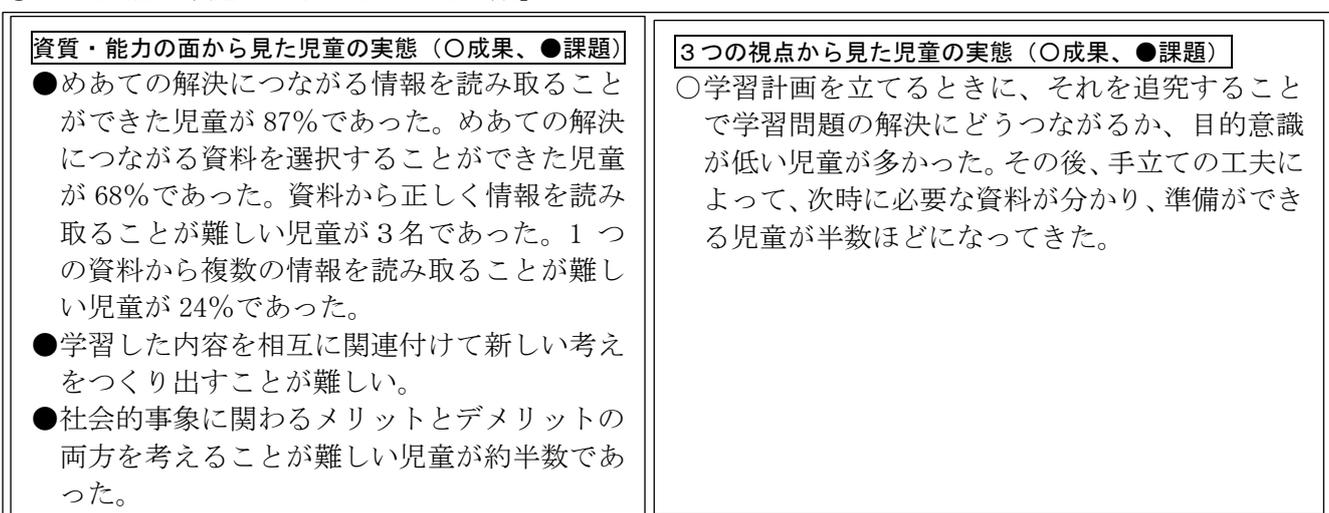
④ 9 月実践「水産業の盛んな地域」



⑤ 10 月実践 単元「自動車をつくる工業」

授業の質的改善を図った単元の実際はこちらから⇒
click
授業の実際はこちらから⇒
click

⑥ 10 月実践 単元「自動車をつくる工業」





教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 児童が設定した学習問題と学習計画を常時掲示しておくことで、本時で学習する内容を理解させ、本時のまとめを学習問題の解決へつなげることができるようになっている。
- 毎時間ごとの既習事項を教室内に掲示することで、それを使って分からないことを自分で確認する児童が増えている。
- グループ学習を設定し、考えの交流をさせることで、考えを付け加える児童が増え、ほぼ全ての児童が自力でまとめを記述することができている。しかし、記述内容に差があり、根拠が明らかではない児童や学習問題の解決につながっていない児童がいる。グループ学習の手立てを工夫する必要がある。



※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※取り扱う社会的事象を、児童にとって身近な事象として捉えさせるために、佐賀県で生産されている伝統工芸品や佐賀県内の中小工場にも触れる。[A①]
- ※資料の読み取りの際に、どのように見たらそのようなことが分かるのかと、読み取った事実の根拠を問い掛け、赤で付け加えをさせる。
- ※ペアやグループでの話し合いを設定し、時間の経過や消費者のニーズ、生産に関わる人々の置かれている立場を明確にすることで、メリットとデメリットの両面に気付かせる。[D⑥、D④、D⑤]



⑦11月実践 単元「工業生産を支える」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 資料から読み取ったことから考えられることを導き出すことができる児童が全体の 87%であった。
- 学習問題を解決するために何をどのように調べるとよいか具体的に考えることができる児童が約半数いた。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 佐賀県の工業生産（中小工場）の様子を調べたいという声が児童から出てきた。
- 本時の課題を追究することで学習問題の解決にどうつながるのか、理解している児童が多かった。
- 調べたことを伝え合うことまではできるが、議論の中で自分の考えを伝えることが難しい児童がいる。



教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 学習計画をつくる時に、既習事項と知らないことを明確に分けたことで、追究活動における目的意識の明確化につながっていると考える。
- 話し合いの目的（話し合い後に何ができていると良いか）を明確に伝えることができていないため、話し合いの視点がずれているグループがあると考える。

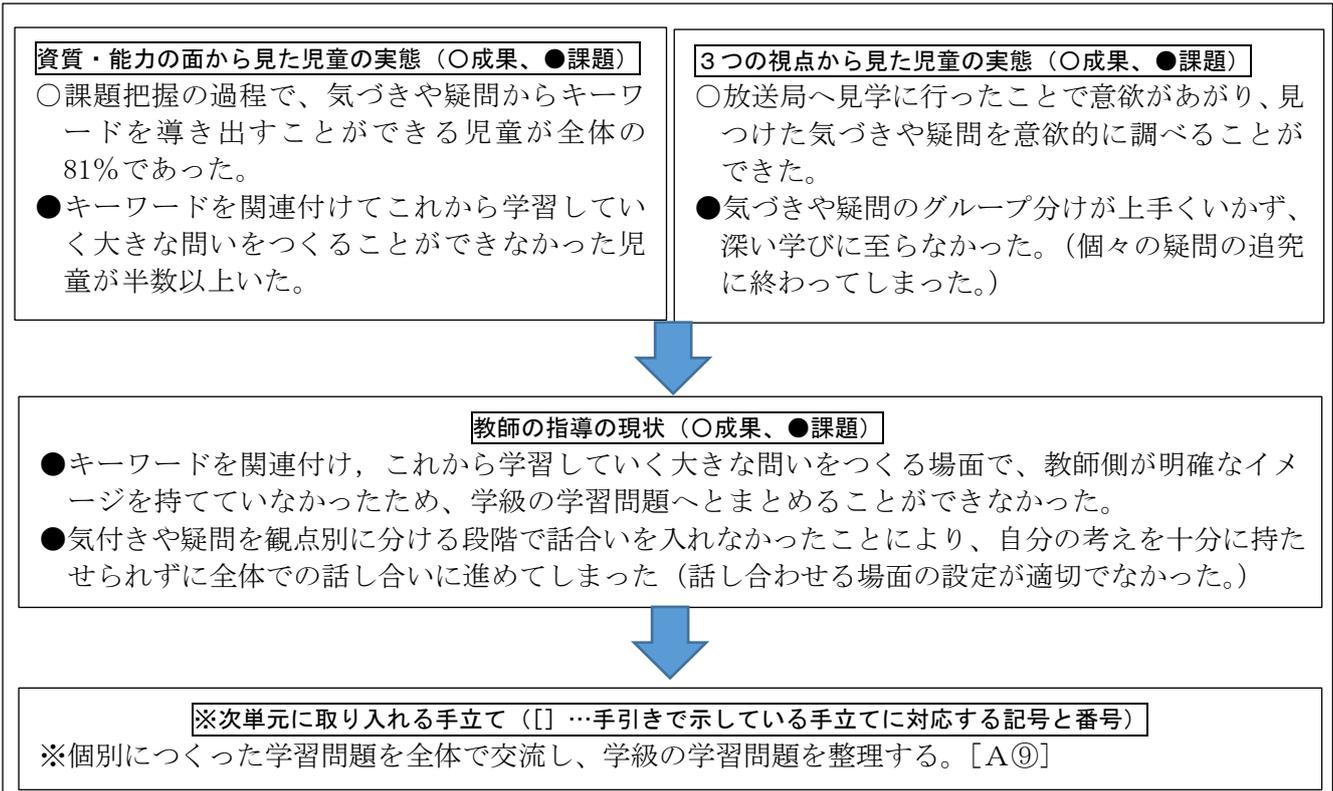


※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

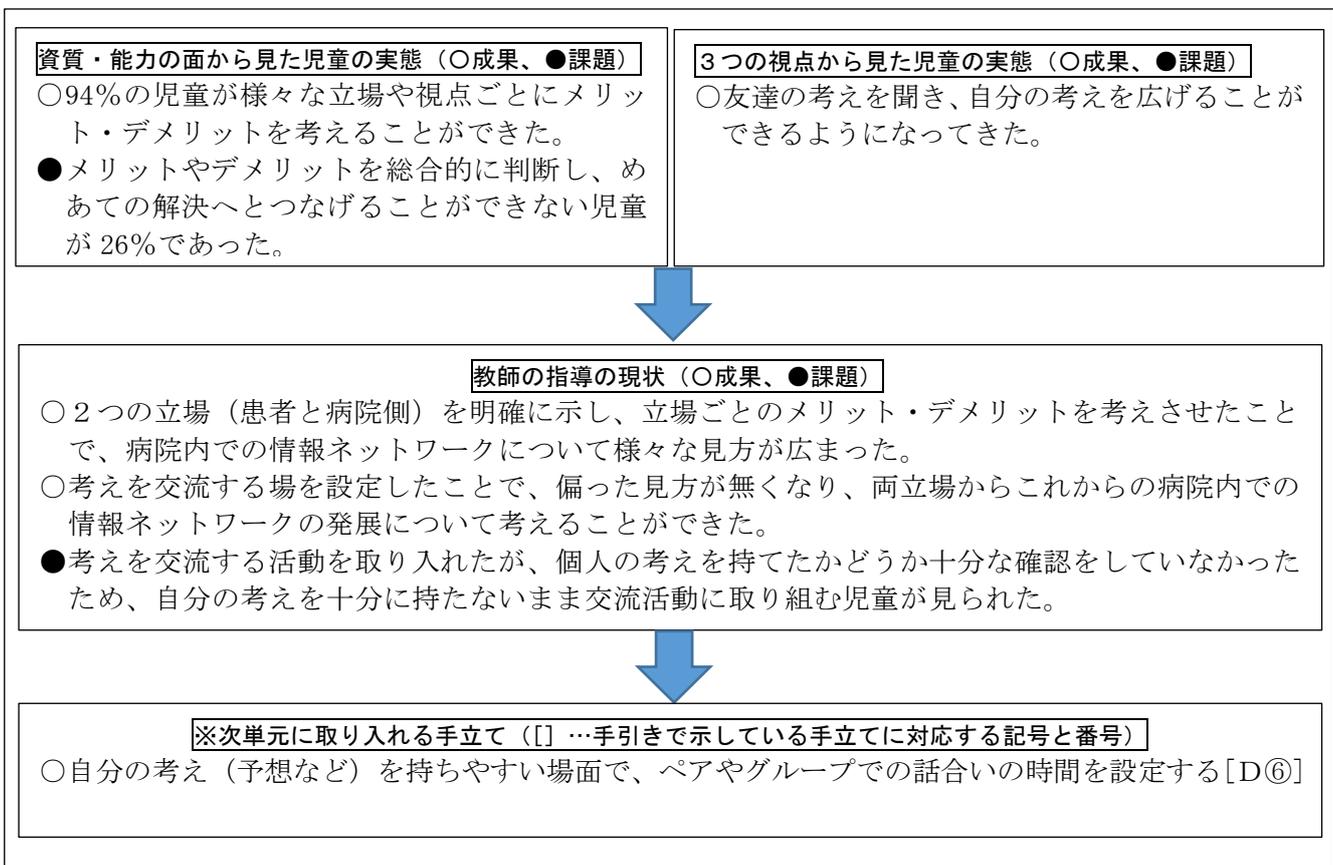
- ※話し合い後のゴールを示す。[D④]



⑧12月実践 単元「情報化した社会とわたしたちの暮らし」



⑨1月実践 単元「情報化した社会とわたしたちの暮らし」



⑩ 2月実践 単元「わたしたちの生活と環境」

